

●福岡県立図書館「青少年読書講演会」
【講演】
**中高生の居場所になる
図書館をつくる**
-図書館をどうPRしていくか?-
講師 仁上幸治
(にかみ・こうじ／図書館サービス計画研究所 代表)
■2015年8月24日(月)13:30-16:00(2時間30分)
■福岡県立図書館(福岡県福岡市)

【O】はじめに



クサガメ

- 名前はワカメ
- 爬虫類＝下等動物？
- 寝てばかり？
- 鈍足？

固定観念

動画
ツカミに効く
授業に使える
自己紹介にも

授業中に学生に質問

このカメ動画「窓枠落下」編を見て、図書館員の現状と課題についての教訓を述べてみよう。

学生の回答

「図書館員は厳しい状況に置かれているので、内にこもってはいけません。外の世界へ積極的に出ていく姿勢が必要だ。」

パチパチパチ！！

YouTube & Skills for Business Success

成功例に学ぶ
YouTube活用と
デジタルマーケティング
作成法

動画使えるに
仕事に効く

1. 動画の活用
2. 動画の制作
3. 動画の活用

仕事に使える動画術
□成功例に学ぶYouTube活用とオリジナル動画作成法
■家子史穂 著 千崎達也 著
■発売日:2015年07月13日
■ISBN:9784798141640
■定価:本体1,800円+税
■仕様:B5・160ページ
■分類:PC書その他
□ <https://www.shoeshita.co.jp/book/detail/9784798141640>

10

**あらゆるビジネスで使える！
伝わる動画の使い方&作り方！**

11

目次
【0】はじめに
【1】中高生時代に会った本
【2】高校図書館の経験から
【3】事前課題アンケートから
【4】できること・できないこと
【5】できるのにやっていないこと
【6】最低基本ラインをクリアする
【7】お手本事例はどこにあるのか
【8】研修自体を変える
【9】結論
付録 ■ 講師紹介: 著書・論文・講演

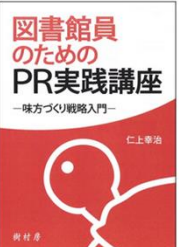
12

お願い
■一回性のライブ
■スライド内容は後日ファイル配付
■ノート不要
■感想・質問用のメモOK
■プロジェクター、照明、マイクボリューム、エアコンなど受講環境についての要望は随時

自己紹介
■**仁上幸治 (にかみ・こうじ)**
■図書館サービス計画研究所(トサケン)代表
■元・帝京大学 総合教育センター 准教授
■元・早稲田大学図書館司書
■非常勤講師(法政大学、亜細亜大学、東京家政大学、桜美林大学、和光大学、玉川大学通教育部)
■**クサガメを室内放し飼い**

 **代表 仁上 幸治**
にかみ こうじ
図書館界の知恵袋を目指す開かれたバーチャル研究所
図書館サービス計画研究所 (略称トサケン)
〒169-0000 東京都新宿区西新宿2-1-1
E-mail: nika@tosaken.jp
Facebook: <https://www.facebook.com/koji.nakami.10>
Homepage: <https://sites.google.com/site/inakami23/>
Mobile: [03-6362-2323](tel:03-6362-2323)

15


図書館員のためのPR実践講座
—味方づくり戦略入門—
仁上幸治
株式会社

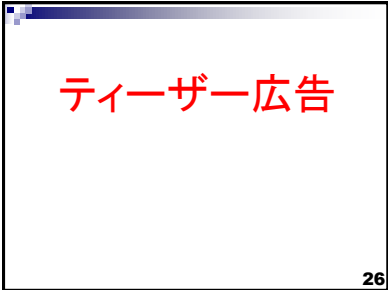
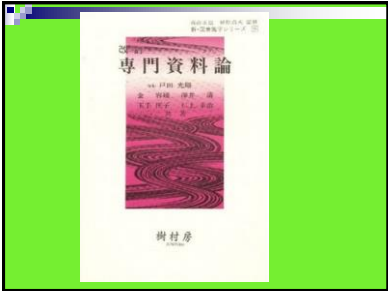
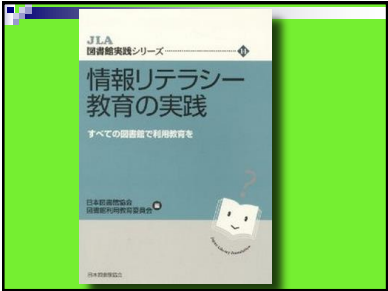
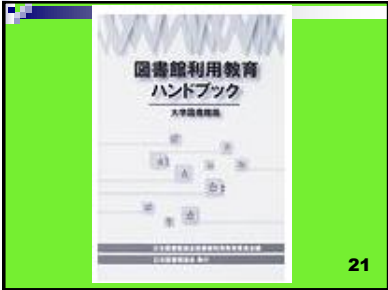
16

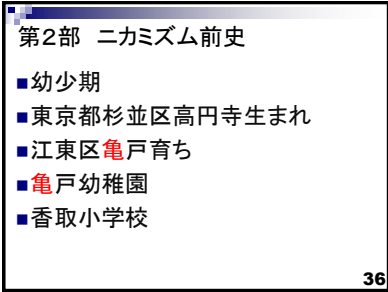
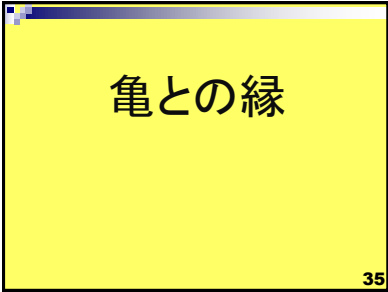
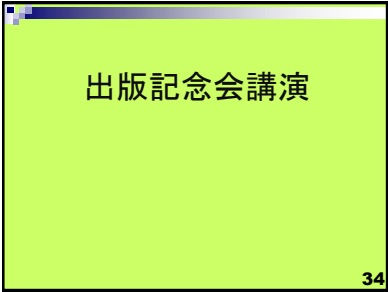
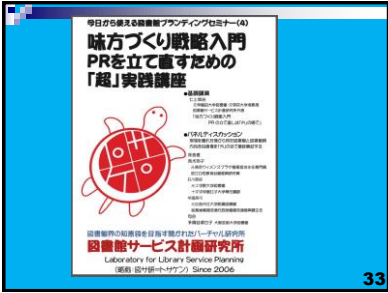
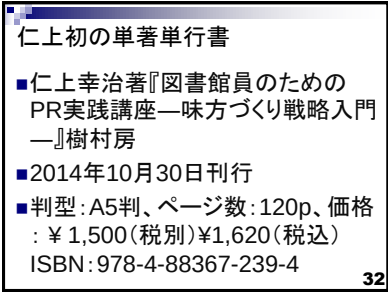
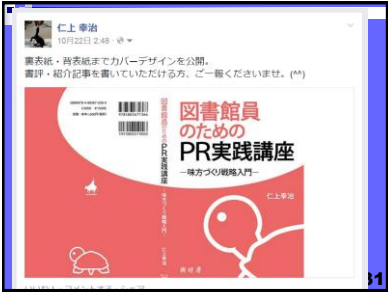
仁上PR本
**初版完売御礼！
好評増刷出来！**
m()m

17

これまでは共著多数

18





小学校低学年まで

良い子

37

小学校4年

- 福井県福井市立旭小学校へ転校
- 福井大学付属中学校に合格するも宮崎県へ引っ越し;;

38

小学校高学年から

転校生
風の又三郎

39

中学生時代

- 宮崎市立宮崎西中学校
- 卓球部
- 将棋
- 教師嫌い
- 学校への違和感

40

【1】中高生時代に出会った本

41

白土三平

42

月刊漫画『ガロ』

43

忍者好き

44



45

反抗 一匹狼

46

創意工夫

47

知恵の共有 組織 運動

48

美学校

49



50

赤瀬川原平

- 『桜画報』
- ハイレッドセンター
- 梱包芸術
- 模型千円札
- 超芸術トマソン など

51

ユーモアとパロディ

52

美学校「絵・文字工房」1978年度

- 講師：赤瀬川原平
- 今和次郎『考現学』
- 宮武外骨『滑稽新聞』
- 路上観察
 - 南伸坊
 - 渡辺和博
 - 久住昌之
 - 伊藤博幸（イトヒロ）

53

考現学

54



観察・記録
分類・類型化

56

収集癖

57



外骨

59



卒業制作

61

全面投稿雑誌
月刊『ポンプ』

62



- 月刊『ポンプ』
- 編集長・橘川幸夫
- 元『ロッキングオン』共同創業者

[illegible]

双方向性

- デジタルメディア研究所
- 略称「デメ研」

[illegible]

- カメ鉛・82年夏の写真が出てきた
- 2012.07.24 Tuesday | category: おしゃべりマガジン・ポンプ

□ <http://sioz.jugem.jp/?cid=4>

つながりは楽しい

草野球歴
36年
1979年～

草野球

- 伊藤博幸(イトヒロ)
- 早大漫研人脈
- 木原庸介
- 対戦相手
- 平出隆
- 稲川方人
- 大西祥一

73

1996



74

2007



75



76

上達は楽しい

77

順位	番号	選手名	打率	打点	二塁打	三塁打
1	3	仁上幸治	.500	2	1	
2	18	山中崇	.333	4	0	
4	71	松木	.231	4	1	
5	29	大川	.214	0	0	
6	19	新井秀治	.200	5	2	
7	11	平川伸一	.156	4	0	
8	-9	助っ人-9	.077	2	1	
9	4	落田有弘	.071	0	0	

78

キーワード

79

双方向性

80

つながり

81

楽しい

82

ヨソ者
スネ者
ハグレ者

83

高校生時代

- 宮崎県立大宮高校
- 卓球部
- 高2年、東京都立国立高校へ転校
- 学園紛争
- 三島由紀夫自決

84

大学生時代

- 早稲田大学理工学部機械工学科
産業数学コース
- 公害問題
- 科学技術不信
- 周縁文化への逃避
- 勉学意欲さっぱり

85

就活時に図書館司書を選んだ理由

- 「社会的に最も無害な職業」

86

早稲田大学入職

- 図書館司書職
- 楽な仕事
- 刹那的享樂的な日常

87

覚醒

88

図書館利用者教育の理論

- 理論研究と実践応用
- 各種研究会に参加
- 実用理論の構築と啓蒙
- 教材の研究開発普及活動

89

共同研究と応用実践

- 私立大学図書館協会企画広報研究分科会
- 日本図書館協会図書館利用教育委員会

90

教員へ転職

- 大学院進学
- 大学非常勤講師
- 准教授
 - 司書・司書教諭の資格課程
 - 基礎演習
 - 授業改善に挑戦
 - 2014年退職

91

現在

- 図書館サービス計画研究所(略称トサケン)代表
- 図書館員研修で全国行脚
- 講演合計170本

92

主張

- 図書館側の都合優先の内向き発想を批判
- 徹底的に「外」の目を意識する
- 大胆な発想の転換
- 広報、PR、ブランディング
- 情報リテラシー教育

93

- 全国学校図書館協議会・編『情報を学習につなぐー情報・メディアを活用する学び方の指導体系表解説』2008, ¥735

情報・メディアを活用する学び方の指導体系表

<http://www.j-sla.or.jp/pdfs/material/taikeihyou.pdf>

情報・メディアを活用する学び方の指導体系表

2008年4月1日現在、全国学校図書館協議会調査結果

1. 学習活動の目標・学習成果	2. 学習活動の過程・学習活動	3. 学習活動の成果・学習成果	4. 学習活動の評価・学習成果
○学習活動の目標・学習成果 ・情報・メディアの活用による学習成果の向上 ・情報・メディアの活用による学習成果の向上 ・情報・メディアの活用による学習成果の向上 ・情報・メディアの活用による学習成果の向上	○学習活動の過程・学習活動 ・情報・メディアの活用による学習活動 ・情報・メディアの活用による学習活動 ・情報・メディアの活用による学習活動 ・情報・メディアの活用による学習活動	○学習活動の成果・学習成果 ・情報・メディアの活用による学習成果 ・情報・メディアの活用による学習成果 ・情報・メディアの活用による学習成果 ・情報・メディアの活用による学習成果	○学習活動の評価・学習成果 ・情報・メディアの活用による学習成果 ・情報・メディアの活用による学習成果 ・情報・メディアの活用による学習成果 ・情報・メディアの活用による学習成果
○学習活動の目標・学習成果 ・情報・メディアの活用による学習成果の向上 ・情報・メディアの活用による学習成果の向上 ・情報・メディアの活用による学習成果の向上 ・情報・メディアの活用による学習成果の向上	○学習活動の過程・学習活動 ・情報・メディアの活用による学習活動 ・情報・メディアの活用による学習活動 ・情報・メディアの活用による学習活動 ・情報・メディアの活用による学習活動	○学習活動の成果・学習成果 ・情報・メディアの活用による学習成果 ・情報・メディアの活用による学習成果 ・情報・メディアの活用による学習成果 ・情報・メディアの活用による学習成果	○学習活動の評価・学習成果 ・情報・メディアの活用による学習成果 ・情報・メディアの活用による学習成果 ・情報・メディアの活用による学習成果 ・情報・メディアの活用による学習成果
○学習活動の目標・学習成果 ・情報・メディアの活用による学習成果の向上 ・情報・メディアの活用による学習成果の向上 ・情報・メディアの活用による学習成果の向上 ・情報・メディアの活用による学習成果の向上	○学習活動の過程・学習活動 ・情報・メディアの活用による学習活動 ・情報・メディアの活用による学習活動 ・情報・メディアの活用による学習活動 ・情報・メディアの活用による学習活動	○学習活動の成果・学習成果 ・情報・メディアの活用による学習成果 ・情報・メディアの活用による学習成果 ・情報・メディアの活用による学習成果 ・情報・メディアの活用による学習成果	○学習活動の評価・学習成果 ・情報・メディアの活用による学習成果 ・情報・メディアの活用による学習成果 ・情報・メディアの活用による学習成果 ・情報・メディアの活用による学習成果

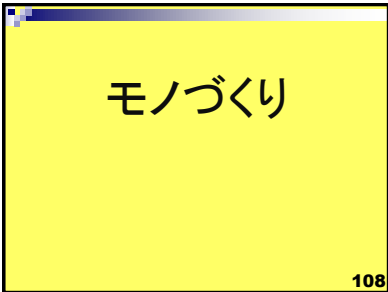
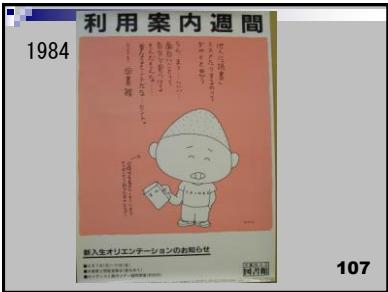
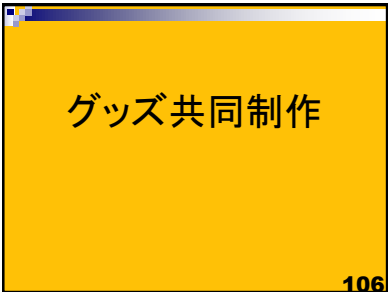
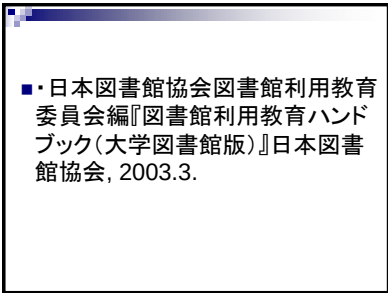
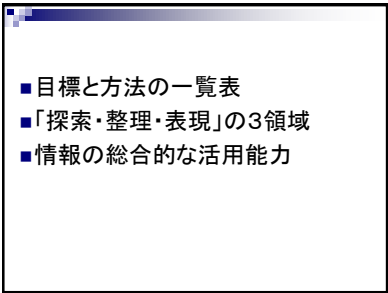
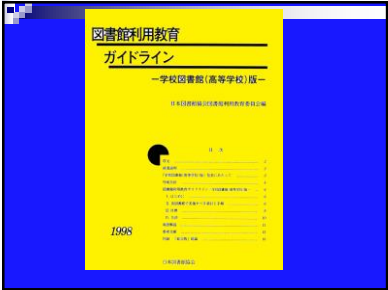
図書館利用教育ガイドライン

- 学校図書館(高等学校)版



98

- 日本図書館協会利用教育委員会編『図書館利用支援ガイドラインー図書館における情報リテラシー支援サービスのために(合冊版)』日本図書館協会, 2001.8, 81p: ¥1500



日本図書館協会

- 1998、1999
- 木原庸佐(きはら・ようすけ)
- コニーちゃん
- フジテレビ「ポンキッキーズ」

1998



110

1999



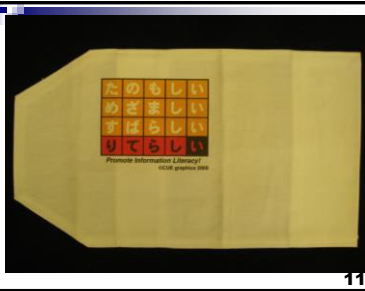
111

感謝 m()m

112



113



114

【2】高校図書館の経験から

115

3. 帝京大学司書教諭課程「学校経営と学校図書館」より

- 参考1)授業計画一覧表

1. 早稲田大学付属高校の事例

概要

- 参考2)事例:早稲田大学高等学院図書室
- 仁上幸治「わが校の図書館あんなに:早稲田大学高等学院」『学校図書館』no.489,1991.7, pp.70-71.巻頭口絵写真2p.

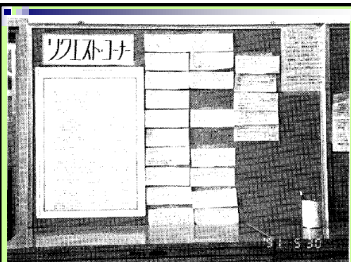
- 参考2)事例:早稲田大学高等学院図書室
- 仁上幸治「わが校の図書館あんなに:早稲田大学高等学院」『学校図書館』no.489,1991.7, pp.70-71.巻頭口絵写真2p.

事例1

- 大学図書館から付属高校への出向司書・仁上幸治の実践
- 1985-1991年

1990年

●仁上幸治「わが校の図書館あんなに:早稲田大学高等学院」『学校図書館』no.489,1991.7, pp.70-71.巻頭口絵写真2p.



学校図書館のイメージ革新

- 学校図書館の古いイメージを打破しよう！
- 一指導とサービスの中で利用者・管理者を味方に変えていく取り組みー

蔵書構築

図書を選ぶプロになろう！

ー生徒本位の「面白い本」を集めるには出版情報への感度と書評多読が必須ー

キーワードは イメージ革新



- 森 伸之『東京女子高制服図鑑』62年度版, 弓立社, 1985.7.
- 制服ブームから制服モデルチェンジの大きな流れまで生んだ話題の本の
大改訂62年度版。全国から寄せられたデータをベースに3分の1以上を再
チェック。正確なデータとイラストによる
楽しい図鑑。都内151校完全収録。



- 詳細略
- 「選書基準をめぐる冒険」Ⅰ、Ⅱ
- これだけで講演1回分！

実例

- オリエンテーション
- 利用案内
- 館報
- リクエスト
- 投書箱
- しおり

オリエンテーション

- ポイント1: 動画を活用する

- 早稲田大学高等学院図書室オリエンテーションビデオ1990

ビデオクリップの選び方

- 教育機関：著作権許諾不要

事例)早稲田大学所沢図書館

- 2001年度まで
 - －大教室 450名 学部新入生全員
 - －課長による口頭挨拶+説明10分+利用案内配布
- 2002年度 なし！
- 2003年度～
 - －改革：30分 スライドショー+概要レジュメ1枚

アメリカ図書館協会

- American Library Association (ALA)

オリエンテーションの3つの評価基準

- ①図書館の便利さ、気軽さ、快適さ、自由さを印象づけたか
- ②図書館へ行こうという気持ちを持たせたか
- ③図書館員の専門性を印象づけたか

4. エデュテインメントとしての4つのコンセプト

- 1)驚かす、
- 2)対話形式、
- 3)旬の話題、
- 4)ワクワク感

141

1. 意外性のあるイントロ

- 「驚かす」の第一関門
- 冒頭での意外性の演出
- 図書館員のステレオタイプなイメージを裏切る
- ウンザリ感より期待感を
- 映像の活用

142

映像の威力

- 映画
- ライブコンサート
- テレビドラマ
- その他

143

- ポイント2:楽しいトピックを使う

■ポイント2: 楽しいトピックを使う

- アメリカ図書館協会(ALA)
- 日本図書館協会(JLA)
- まず楽しさから
- 図書館オリエンテーションへの応用
- 授業オリエンテーションへの応用

READ

and The Force is with you.

読みなさい。
そうすればフォースはキミのものじゃ。

146

アメリカ図書館協会

■American Library Association (ALA)

- アメリカ合衆国
- 図書館

147

利用案内

- 参考3) ●早稲田大学高等学院図書室利用案内1989



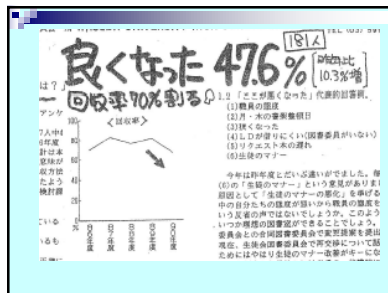
館報

- 参考4) 図2. 早稲田大学高等学院図書室(付属高校)の図書館報 1991年版

3)実作例:

- ・早稲田大学高等学院図書室ニュース『HAL』77号(1988年)(付属高校)





2012年

2012年

- 1)早稲田大学高等学院
 - <http://www.waseda.jp/gakuin/library/>



- 全面委託
- 図書委員会(教職員・生徒)

リクエスト

- 読書権
- 利用者の権利
- 選書への参加
- プライバシー保護

投書箱

- 参考6)葉の裏面見本：早稲田大学高等学院図書室「返却期限日葉」1989-91?

- ## ■投書と回答の実例から

まとめ

- 1)味方を作るコミュニケーションとして
- 2)図書館利用促進、読書促進の観点も
- 3)司書教諭のプロの存在感を示す
- 4)真面目に、かつユーモアを忘れず

投書箱

生徒との直接対話で味方を増やそう！

ーコミュニケーション活動によって
司書のキャラを立てるー

しおり

- 参考6)葉の裏面見本：早稲田大学
高等学院図書室「返却期限日葉」
1989-91?

討論

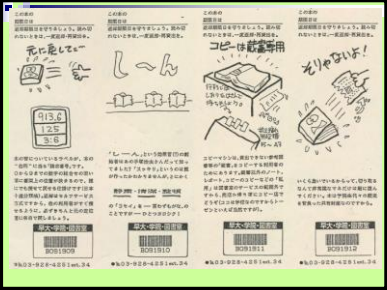
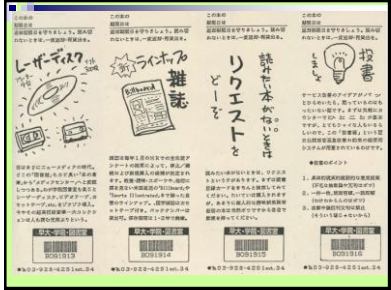
- 日本の図書館の印象
 - 小中高校の図書室
 - 大学図書館
 - 公共図書館

図書館ポスターの限界

- 図書館界の内輪うけ
 - >> 一般的全国的な話題性
- 固定的来館者にしか届かない
 - >> 非利用層への訴求力
- 閉鎖的な制作体制
 - >> 一流広告業者によるコンペ

日本図書館協会

- 1998、1999
- 木原庸佐(きはら・ようすけ)
- コニーちゃん
- フジテレビ「ポンキッキーズ」



- 葉(ブックマーク)
- 小さなメディアの意外に大きな効果
- 広報・利用促進・利用者教育のためのワンポイント情報提供ー

◎葉を考える視点

- 1) PR(Public Relations広報):味方づくり
- 2) PM(Promotion 利用促進):資料・機器紹介等
- 3)UE(User Education利用者教育):図書館活用法・マナー指導

◎留意点

- 表のイラストで注目させ裏を読ませる
- 内容はシンプルに
- デザインは利用者本位に
- 使い方を工夫する
- 配布方法を工夫する
- メディアミックスの考え方を忘れず



- 1)私立大学図書館協会東地区部会研究部企画広報研究分科会『図書館広報実践ハンドブック』日本図書館協会発売、2002.9, ¥2381:
 - [2F 基本 総記 013.7/Sh-88]
- 「葉」:pp.57-58, pp.136-140.
 - <http://www.amazon.co.jp/exec/obidos/ASIN/4820402021/universitysta-22/ref=notsim/>
 - <http://homepage1.nifty.com/oyaoya/kikaku/>

ご当地漫画家

■図書館葉シリーズ!!

- 鳥取県
 - 水木しげる、青山剛昌
- 群馬県
 - あだち充
- 全国レベルで連携・交換しよう！



注・引用文献

- 1)成田康子『みんなでつくる学校図書館』岩波書店,2012.1(岩波ジュニア新書; 703)

【3】事前課題アンケートから

- 85 件の回答
- 参加者135名
- 回答率63%

- 公共図書館 63 75%
- 学校図書館 19 22.6%
- 大学図書館 1 1.2%
- 専門図書館 0 0%
- その他 1 1.2%

181

お悩み

182

- なぜ低い？
- 認知度
 - 利用率
 - 親組織内の重要度
 - スタッフの労働条件

183

どうすればいいのか？

184

- どうしていいかわからない
- 自信がない

185

- 自信がない
- パソコンスキル
 - 専門知識技能
 - アイデア
 - 提案力
 - 交渉力
 - 政治力
 - 気力
 - 体力

186

なぜ？

187

- 6-1. 上記の論文についての感想など。

188

- 公共図書館

189

■日本人の美德とも言える「奥ゆかしさ」にダメ出しし、それを抑え込むようにしても、誰もが前向きにPRに取り組む意識にはなりづらいのではないのでしょうか。それよりは、図書館に来る人、関わる人に対して、あらゆる機会を以て、「楽しい」「面白い」「助かった!」と思ってもらえるように工夫する...そういう意識を図書館員みんなで作ればと思います。

190

■今まで自分自身が「広報＝お知らせ」と認識していたので、考えを改めなくてはと思いました。

191

■広報の手段・事例・問題点を明確に知ることができた。しかし2010年の論文ということで5年が経過している今、その期間にもSNSの普及・浸透が急速に進んでいる。それに伴い、SNSツールでの広報を行っている館も少ないため、論文発表時の状況と現在の状況に若干のズレが生じているのではないかと感じた。

192

■ブランディング推進のためには、予算が必要。図書費の予算確保を十分に行ったうえで、その他の予算範囲内で行うとすれば、限られた広報活動になる。そうなると統一性を持ったブランド力というのは、期待できない。公共図書館では限界がある。

193

■出来る限り今回のような研修に参加している／上記や論文にあがっている本を読んでみようと思う／成功例があげられていたが、詳細な流れ、関係(協力した)部署がどういったことをした(渋っていたのをどう説き落としたりとか)、予算はどう集めた等まとめてあったらとても参考になるし実行に持っていきやすいのではと思った。

194

■図書館員が自分の図書館の蔵書を仕事や自己研鑽に本気で活用しているのか、という文章にぎくりしました。

195

■全国的な実践例が数多く紹介されており、大変ありがたい。と同時に自館の現状がもどかしでしようがない。同じ図書館界でこういった取り組みをしている職員各位の存在が励みになる。参照されている文献からも、自館に見合った手段を検討していきたい。

196

■恥ずかしながらこの論文を読んだり、図書館における広報の本を読んでいなかったため、これをきっかけに精読しようと思います。

197

■図書館における、広報という視点の発想が無かった。毎月、同じ作業の繰り返しで広報を行っていた。その作業に問題意識をもっていなかったことに気づかされた。

198

■どのようにしてPRを行えばよいのか迷っていた為、大変参考になった。また、紹介して頂いている文献も一読してみたいと思う。当日お話をお聞きできる事を楽しみにしております。

199

■論文発表から5年経った現在もあまり変わらない状況にあるなと思いました。

200

■サイン計画の項目は、確かにそうだと頷きつつ読んでいたら救いのないまま項目が終わりちょっと笑ってしまった。

201

●学校図書館

■実行してみたい思っていたことが明確化され勇気づけられた／意識して考えてないことが多いと知った／司書としてだけではなく外側から図書館を見つめる必要がある／多くの文献や実践例など知らないことが多いことに気づく

203

■久しぶりに論文というものを読みました。まず、第一にさすが上手いなと思いました。この論文は公共図書館や大学図書館のことがメインでしたので、小・中学校図書館についてのコメントを読みたいです。

204

■耳の痛い事ばかりです。目の前のことに追われて、自分の置かれている状況をきちんと把握出来ていないと思いました。

205

■実行してみたい思っていたことが明確化され勇気づけられた／意識して考えてないことが多いと知った／司書としてだけではなく外側から図書館を見つめる必要がある／多くの文献や実践例など知らないことが多いことに気づく

206

●大学図書館

207

■「一般館員が研修に参加してサービス改善のためのアイデアを持ち帰っても。管理職が保守的・保身的であれば身も蓋もない」と書かれています。その通りで、そのようなアイデアを持ち帰るなら、研修に行かなくてよいことを言われています！本音を言えば、ここに書かれていることを実践できる職場環境でのびのびと働きたいです。（能力実力が足りないのもっと勉強します！）

208

■6-2. 現在の仕事について、自慢できる点は何ですか？

209

■6-3. 現在の仕事について、困っていること、ぶつかっている壁は何ですか？

210

●公共図書館

211

■日常業務に追われている状態を開できていない。カウンターからなかなか出られず、目の前の棚の乱れすら業務中に直せないことが多い。通常業務を残業で終わらせている状態で、プラスアルファの業務となるとみんな残業必須になっている。打開策を常に検討中。

212

■日々の仕事に追われ、自分自身の能力向上のための勉強がなかなかできないこと。
■中高生の利用促進の方法について。

213

●学校図書館

214

■福岡市の場合、一人の司書が中学校2校、小学校2校計4校兼務。小学校は年間各61日中学校は各12日勤務。圧倒的に少ない日数のため出来ることが限られている。学校図書館に関しての自治体の理解の低さが一番の壁である。

215

■6-4. 事前課題についての感想、疑問、研修に期待することなどなんでもご自由に。

216

●公共図書館

217

- 「中高生の居場所になる図書館をつくる」がメインテーマの講演会と思い参加希望したのですが、この事前課題では図書館のPRについてがほとんどの内容なので、講演会ではPRを含めたところでの「中高生の居場所になる図書館をつくる」具体的なお話を聞けるとありがたいと思います。
- どのような方法で若者に向けて広報活動をしていくのか、教えて頂けると嬉しいです。
- 論文の主題のような、広報にかんする考察も勿論のこと、中高校生への効果的なアピールについて深く学びたい。
- 小学校高学年～中学生といった図書館に足を向けなくなる世代にどうやって存在をアピール出来るか、ヒントを探したいと思います。

218

- アンケートの回答を考える中で、自己の能力と自館の状況について改めて把握できた
- 事前課題を出してくださったおかげで、今まで知らなかったことを知ることができ勉強になったので大変良かったです。事前課題とは別に、先生のパスファインダーに関する講義録や図書館利用教育実践セミナーの資料などを拝読しましたが、自分自身の不勉強さが身に染みました。
- 事前課題があったおかげで、いつか読もうとなりがちなところ、上記論文だけでも拝読することができた。また多数の有益な情報を得、日常業務でへとへとな自分に新たなやる気を起こさせてもらった。

219

- 事前課題の設問が非常に多く、やや散漫な印象なので、もう少し絞ったものにしてほしい。
- これほど長いアンケートの必要性があるのか。データ収集の為だけではないのかと疑問に思えた。このアンケートから講演の内容とどうリンクされるのか期待します。

220

- 講師の方の著書『図書館員のためのPR 実践講座』を月に1回開催されている勉強会で少しずつ読み進めているのですが、今回偶然にも著者の方の講演ということで楽しみにしています。

221

●学校図書館

222

- 事前アンケートと課題の論文から推察すると24日はとても難易度が高い講演会なのかと正直、怖気づいております。
- 演題を見て、研修への参加を即決しました。小学校経験が長かったので、初めて勤務する中学校の図書館で試行錯誤の日々です。利用者は当然中学生がメインですが、いわゆる固定客だけでなく、多くの生徒に利用される図書館づくりのアイデアを提案していただきたいです。よ

223

●大学図書館

224

- 本音をえぐるアンケートの記述質問でした^^;

225

【4】できること・できないこと

226

- 中高生の居場所になる図書館をつくる
- -図書館をどう PR していくか?-

227

中高生

- 国語科帝国主義
- 体育科マッチョ主義

228

読書の固定観念

- 青白い文学青年イメージ
- 文学・小説至上主義

229

居場所

- 肉体
- 精神

230

30年前の居場所論

- 図書館と保健室は避難場所
- 変わらない現状

231

利用者減少は必然

- 人口減少
- 非来館型サービス充実

232

- 2010年レビュー論文は古い？
- その後の展開を知りたい

233

本当に知りたかったら検索！

- 5年前に出会えなかった理由
- 先進事例教えて症候群

234

■ 疑問

- サービス改善できないのは先進事例を知らないから？
- 先進事例の最先端現場は何をヒントにしているのか？

235

■ 戦時標語

- 足らぬ足らぬは工夫が足らぬ

236

■ 工夫の条件

- 知識
- 技能
- 意欲

237

- 先端事例より基本クリア努力

238

■ できない理由

- 忙しい？
- 予算がない？
- アイデアがない？

239

■ 【5】できるのにやっていないこと

240

■ 質問

- 3-1. マウスよりもショートカットキーを日常的に活用している(行頭へ、行末へ、文頭へ、文末へなど、画面上でのカーソルの移動や、文字列のコピーや貼り付けなどの操作をキーボードのキーで行う)。

241

■ ショートカットキー

- 1点 22 25.9%
- 2点 20 23.5%
- 3点 22 25.9%
- 4点 13 15.3%
- 5点 7 8.2%

242

- 中高生サービス至上主義？
- 中高生は全利用者の1セグメント
- 中高年は？

243

図書館蔵書を仕事に活用しよう！

244

コトバの言い換え

- 学修 << 学習
- ラーニングコモンズ << 団体自習室
- アクティブラーニング << 受動的学習？
- ライティングセンター << 読み書き算盤

245

イマドキの大学生

- レポート書けない
- 文献書誌データの書式書けない

246

なぜ？

- 学校教育の不備
- 学校の宿題が公共図書館へ丸投げ
- 学校教員はどこで養成？
- 公共図書館へ親同伴でレポート相談する大学生
- 公共図書館には使える本がない
- 司書はどこで養成？

247

問題の枠組み

- 情報リテラシー教育
- 関係者それぞれに責任

248

他人のせい症候群

- あなたは何様？

249

■人事制度・政策・採用

250

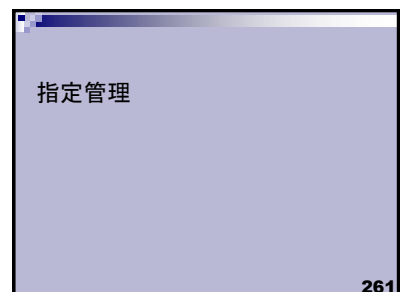
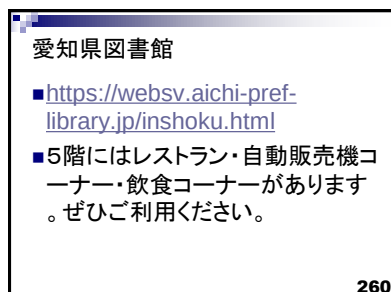
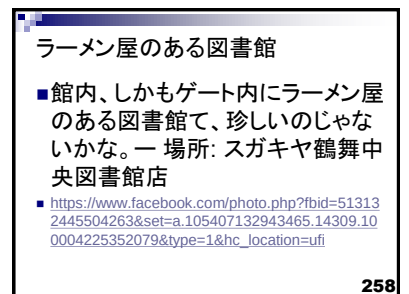
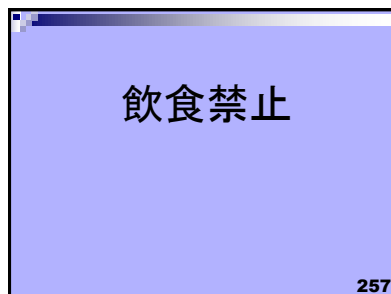
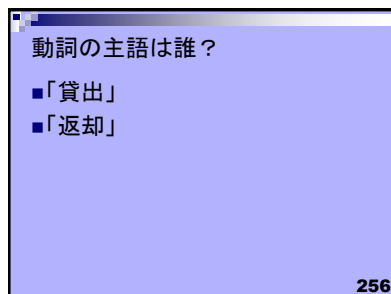
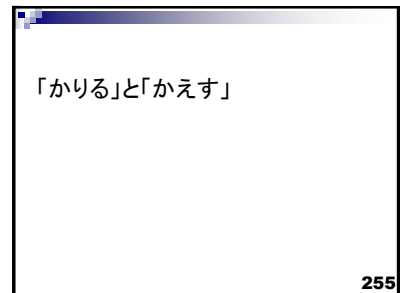
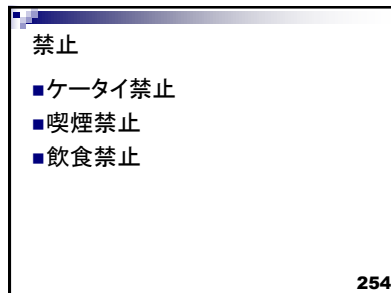
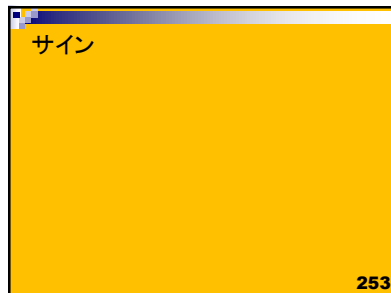
できない理由探し症候群

- やりたくない
- 面倒くさい
- ほっといてくれ

251

【6】最低基本ラインをクリアする

252



直営か指定管理か？

262

直営

- 正規職員
- 図書館嘱託員

263

指定管理

- 正規職員
- 非正規職員
- 指定管理でサービス向上
- 指定管理で人件費節約

264

- 図書館は直営の価値を訴求できるか
- 市民「サービス向上で良くなった」
- 今までなぜできなかったのか？

265

【7】お手本事例はどこにあるのか

266

- あなたの実践が最新事例
- 地域の実践合計が地域の水準

267

- サービスは一般理論の応用問題
- +
- 現場の発想力・実践力

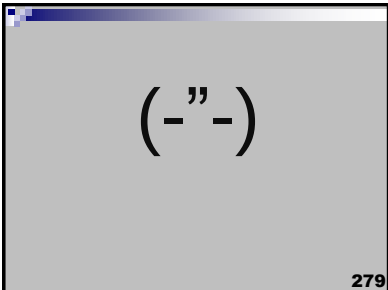
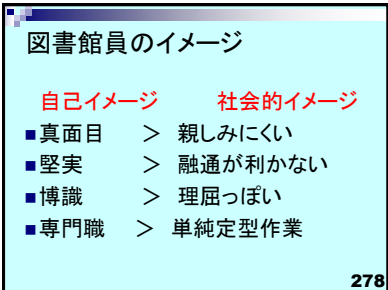
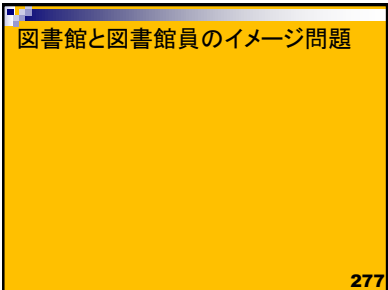
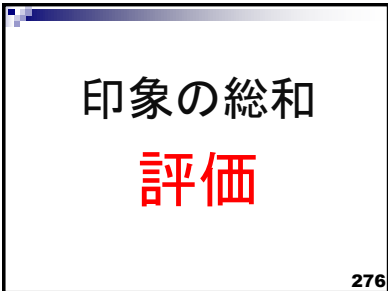
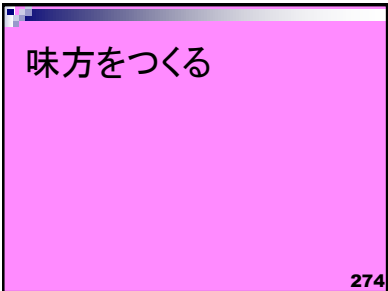
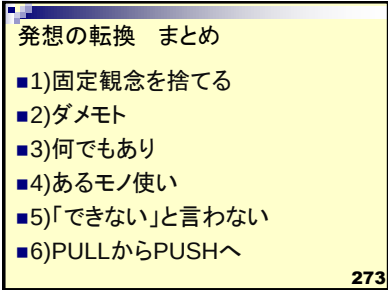
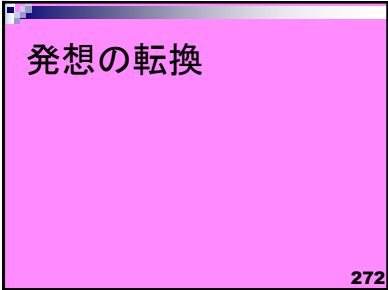
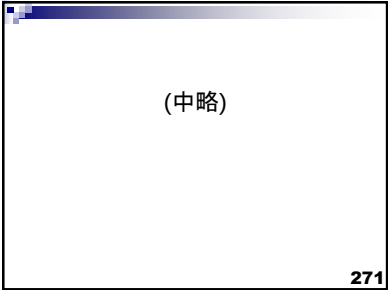
268

内部事例至上主義

269

他業界からヒントを学べし！

270



伝えたい自分イメージ

- 1)プランナー
- 2)コーディネータ
- 3)プロデューサー
- 4)インストラクター
- 5)クリエイター
- 6)ファシリテーター

280

味方はどこに？

- 同僚
- 上司
- 館長
- 親組織
- 利用者

281

味方はどこに？

- 探す？
- 作る！
- あなたが変われば

282

味方づくりは自分ブランディングから

- 同僚に好かれる
- 上司に頼られる
- 館長に自慢される
- 親組織に重宝される
- 利用者に仲間と認められる

283

自分ブランディング 検定

284



285

図書館界の知恵袋を目指す
開かれたバーチャル研究所



図書館サービス計画研究所
Library Service Planning
Laboratory (開かれたバーチャル研究所) Since 2008

286

プラス面切り取り主義

- 規模が小さい
→ 小回りの利くキビキビしたサービス
- 蔵書が貧弱
→ 精選された蔵書構成
- スタッフ少ない
→ 家族的な雰囲気、ボランティア歓迎！
- 専門性に不安
→ 共に学んで成長していく前向き図書館員

287

(中略)

288

学外コラボによる読書推進

- ◎帝京大学図書館(MELIC)
- ・スターバックスコーヒー誘致挫折
- ・共読ライブラリー(編集工学研究所とコラボ)
- ・大型予算

帝京大学図書館

- 読書推進の取り組み
<https://apps.v-main.teikyo-u.ac.jp/tosho/tos.html>
- 松岡正剛とのコラボ企画
- 共読ライブラリー
- 読書推進運動
- イベント連動型PR

絶大な効果

- 利用促進
- 学内PR
- 学外宣伝
- 話題提供

【8】研修自体を変える

292

魔のトライアングル

- 理解のない上司
- 意欲のない同僚
- どうしていいかわからない私

293

研修に出すコスト

- 研修で得た知識・技能・意欲
- 現場で活かさない実態

294

研修という問題

- 忙しいなら行くな
- 活かさないなら無駄
- 知識・技能・意欲の低下

295

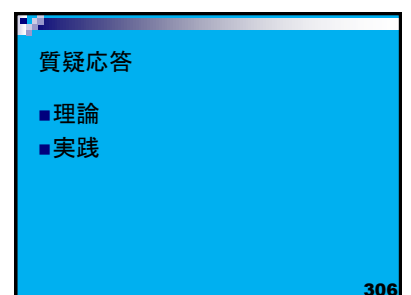
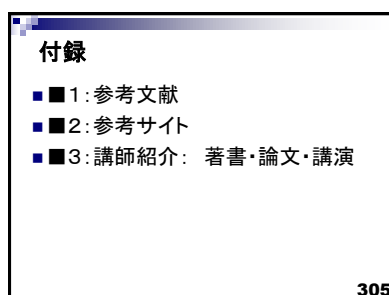
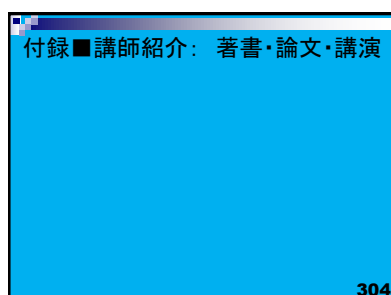
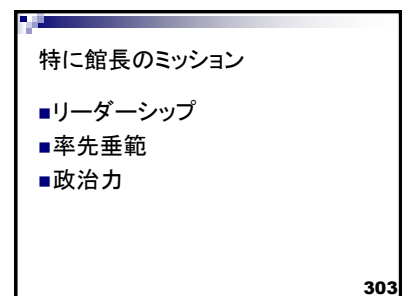
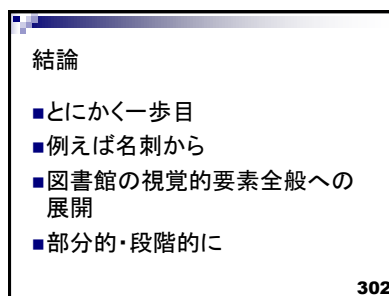
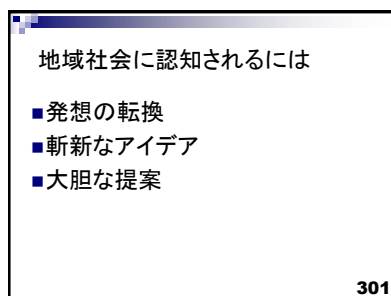
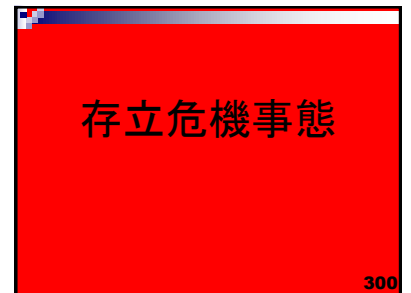
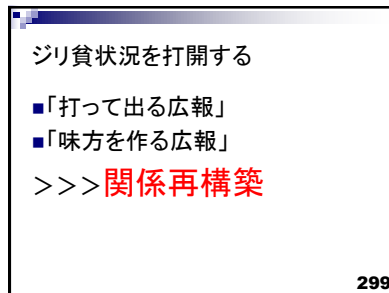
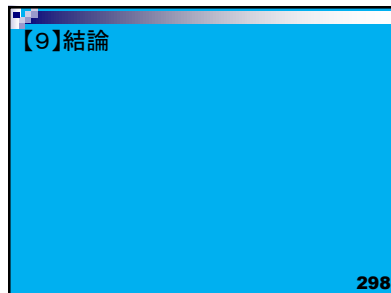
人材養成

296

悪循環を断ち切る

- 知識・技能・意欲アップ
- 業務効率とサービスアップ
- 研修評価アップ
- 無理しても参加応援

297



主催者企画

307

事例報告

- ①糸島市立図書館と糸島の学校図書館が作成している冊子
- ②福岡県立図書館の青少年用パスファインダー

308